

中学生体験事業レポート



平和記念公園に納める折鶴

体験事業を終えた生徒たちは、原爆が投下された都市広島を見て思ったこと、感じたこと、平和への願いなどを全員が作文にまとめました。そのうちの一篇を掲載します。

私たちが 広島で感じたこと

平和体験活動に

参加して

一年二組 田中 智子



私たち一年生八人は、早川寿樹先生引率のもと、八月五日、六日の二日間にわたって広島で体験活動を行ってきました。

広島は、世界で初めて原子爆弾が投下されたまちです。今からちょうど六十年前の一九四五年八月六日の午前八時十五分に、たった一つの新型爆弾が、アメリカによって使用されました。

何の前ぶれもなく、現在の原爆

ドームの上空付近で爆発し、その瞬間三千度から四千度の高熱と爆風のために、大きな被害を受けました。私たちに話を聞かせてくださった芳野さんは、当時中学生で原爆の被害にあったそうです。家族を捜しにまちへ入ったところ、黒こげで死んでいる人、皮膚がただれて手の先からどろどろの皮膚が垂れ下がっている人などをたくさん見たそうです。また、どこをみても、死体だらけなので、空を見上げて食事をしたそうです。

広島平和記念資料館では、爆発の影響だけでなく、放射能の恐ろしさを知る事ができました。ここでの見学は、私たちにとってショックなものばかりで、原爆の怖さ、戦争の恐ろしさを実感しました。ぜひ、みなさんもここを訪れて、平和について考えて欲しいです。

六日の平和記念式典では、ちょうど六十年目ということで多くの人が参加していました。お祈りをして人、平和についてアピールしている人などが平和記念公園にたくさんいました。多くの人々が本当に世界平和を願っているんだなということが分かりました。

戦争や原爆を直接知らない私たちは、これからこれらのことを語り伝えていくことが大切だと思います。そして、絶対に戦争をおこしてはいけません。全世界にやさしい心の輪を広げていけたらと思っています。

広島平和体験事業参加者(敬称略)

- | | |
|-------|-------|
| 大平 真菜 | 竹内 千恵 |
| 竹内 美晴 | 田中 智子 |
| 澤田 瑞樹 | 村田 享郷 |
| 都築 千里 | 鈴木 麻見 |



平和記念公園